

2024年12月23日

日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2024年12月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに回復している。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。観光は増加している。住宅投資は足踏み状態となっている。公共投資は回復している。設備投資は増加の動きが一服している。

生産は増加している。企業の業況感は改善基調が続いている。雇用・所得環境は緩やかに改善している。消費者物価指数の前年比は2%台後半となった。

先行きについては、企業の人手不足感の強まりと物価上昇による影響のほか、海外経済の動向を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。財消費、サービス消費ともに、緩やかに回復している。

10月の商業動態統計は、前年を下回った。11月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、増加している。

10月の主要ホテル・旅館宿泊者数は、前年を上回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回った。

住宅投資は、足踏み状態となっている。

10月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、回復している。

11月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、増加の動きが一服している。

2024年度の設備投資（2024年12月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

10月の建築物着工床面積は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、持ち直している。造船は、増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

10月の有効求人倍率は、1.20倍となった。9月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

11月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、2%台後半となった。

5. 金融

10月の総預金および貸出金は、いずれも前年並みとなった。

6. 企業倒産

11月の県内企業倒産(負債総額10百万円以上)をみると、件数は前年を下回った一方、負債総額は前年を上回った。

7. 企業の業況感

2024年12月短観における企業の業況感は、改善基調が続いている。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2024年11月公表分）	今回（2024年12月公表分）
景気全体 （据え置き）	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
個人消費 （据え置き）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。	一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。
観光 （据え置き）	増加している。	増加している。
住宅投資 （据え置き）	足踏み状態となっている。	足踏み状態となっている。
公共投資 （引き上げ） （8か月ぶり）	回復しつつある。	<u>回復している。</u>
設備投資 （据え置き）	増加の動きが一服している。	増加の動きが一服している。
生産 （据え置き）	増加している。	増加している。
雇用・所得 （据え置き）	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

（注）下線は、前回からの変更・追加。